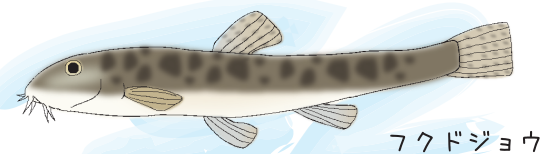


5 西区の川や周辺で観察することのできる動植物

西区内の川や周辺では、様々な種類の動植物を観察することができます。
これまでのエコキッズ・プログラムの活動の中で観察することができた
動植物をいくつか紹介致します。

※植物や動物は、川や周辺から持ち帰らずその場で
生きている姿をそっと観察するようにしてください。



フクドジョウ

木



ヤナギの仲間

水が好きな木で、川の周りに一番多く生えています。根が川に浸かっても腐りません。



ニセアカシア

いい香りがする花が終わると、豆の形の種が沢山つきます。



ポプラ

白い綿が川や道路に沢山落ちていたらポプラです。綿の中には、種があります。



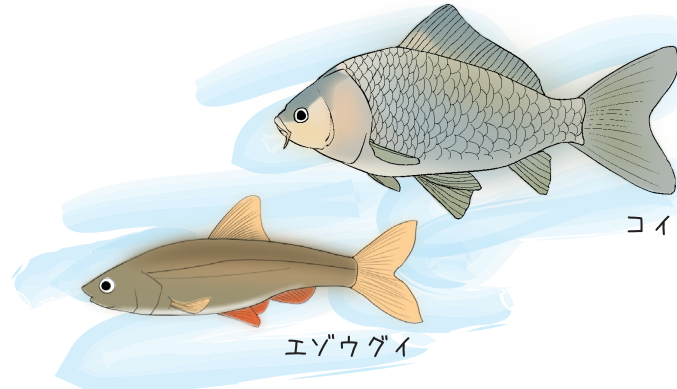
オニグルミ

秋頃に緑色の実をつけます。実の中には、茶色の硬い殻に覆われた種が入っています。



ケヤマハンノキ

種がどこからともなく飛んできては川原で芽吹き、成長していくので、よく見かけることのできる木です。



コイ

エゾウグイ

草



ヒメジョオン

白からうす紫の花が長い間咲いています。チョウやハチがよく来ます。



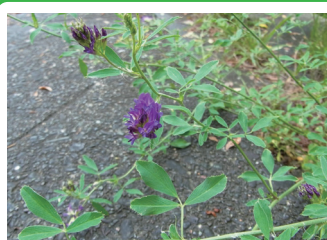
オオイタドリ

草なのに子どもの身長よりも大きくなるものもあります。白い花が咲きます。



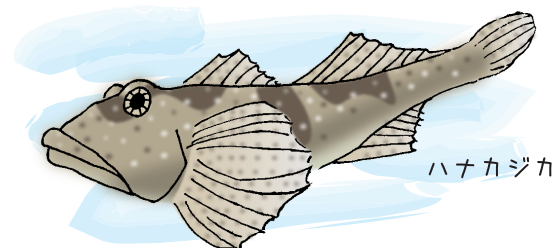
クサヨシ

水際によく生えていて、高いものは180cm程にもなります。細長い葉が特徴で、夏の初めに薄茶色の穂を立てます。

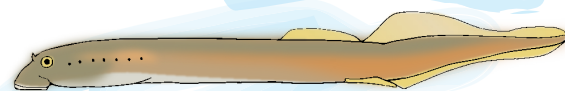


ムラサキウマゴヤシ

外国から来ました。“ゴヤシ”はえさのことです。別名アルファルファともいいます。



ハナカジカ



スナヤツメ

魚



ハナカジカ

上流にいくほど、多く見かける魚です。平和湖あたりには、すごく大きな個体がすんでいます。



フクドジョウ

西区内の川全般でよく見かける魚です。川底の石の下に、何匹も群れになってかくれている時があります。



ウキゴリ

琴似発寒川の長栄橋あたりから下流で、川底にベタッとおなかをつけるようにジッとしている姿をよく見かけます。



ヌマチチブ

ウキゴリと同じくハゼの仲間で、2枚の腹びれが合わさって吸盤状になります。全体的に黒っぽく、白い斑点があります。



スナヤツメ

目のうしろに、えらのあなが7つあいているので、8つ目があるように見えます。他の魚に比べ、捕獲できる確率は非常に低いです。

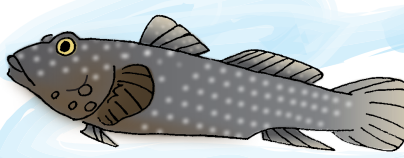


ヤマメ

西区の川のシンボルともいえる魚。海において川にかえってくると大きくなってサクラマスに名前が変わります。



モクズガニ



ヌマチチブ



ヤマメ



ウキゴリ

虫



カワゲラの仲間

陸上(土の中)にすむケラによく似た姿、大きくなると羽化して飛んでいきます。



ヘビトンボ(カゲロウの仲間)

トンボと名がつきますが、トンボの仲間ではありません。胸を持ってつかまえると、長い首を反転させてかみついてきます。



トビケラの仲間

川底の石の裏にすんでいます。クモの巣のような糸で小石をくっつけて巣をつくります。

他



モクズガニ

はさみに毛がはえているカニ、産卵のために海まで泳いで行きます。川で見かける数はそれ程多くありません。



スズエビ

川岸の草の根元をタモ網でガサガサやると、いっぱい何匹もとれることがあります。



カワニナ

琴似発寒川、左股川でよく見かける巻き貝で、ホタルの幼虫やモクズガニ、コイなどに食べられることがあります。

魚・カニの絵：酪農学園大学1年 黒川 綾、東京学芸大学1年 田中 千紗子
写真・解説：札幌市環境教育リーダー 古川 美枝子、本富 寿美恵